

## **Riser Pattern Is a Novel Predictor of Adverse Events in Heart Failure Patients With Preserved Ejection Fraction.**

Komori T, Eguchi K, Saito T, Hoshide S, Kario K.

Circ J. 2017 Jan 25;81(2):220-226.

**Background:** 収縮力の保たれた心不全(HFpEF)の心血管予後は収縮力の低下した心不全(HFrEF)と同様であることが示されている。HFpEFではどのような因子が心血管予後を予測するのかが明らかでない。我々はRiser型血圧変動として知られる異常な血圧日内変動パターンがHFpEFの予後を悪化させる因子という仮説を立て、検証した。

**Method and Results:** 我々は入院中自由行動下血圧測定(ABPM)を行った心不全患者の前向き観察研究を行った。516名の平均年齢69歳、男性321名、女性195名の心不全患者を20.9か月追跡した。総死亡と心血管イベントを含む複合エンドポイントが220名の患者に生じた。 Kaplan-Meier解析では、HFpEF群において、Riser血圧変動群が他の血圧変動パターン群に比べてイベント発生が有意に多かった(HR 3.01, 95%CI 1.43-6.08,  $p < 0.01$ )。しかし、HFrEFではこの傾向は認められなかった。

**Conclusions:** Riser型血圧変動はHFpEFの心血管予後の新たな予測因子である。

### **Key Points:**

HFpEFでは血圧日内変動異常(Riser型)が心血管予後と関連していたが、HFrEFでは関連が認められなかった。その理由としては、HFrEFでは高血圧に関連した臓器障害が進行していないこと、血圧レベルがもともと低いため血圧日内変動異常の影響が少なかったことが考えられる。

HFpEFには予後を改善する薬剤のエビデンスが乏しい。本研究からは、血圧日内変動異常もHFpEFの予後改善のための治療介入対象であることが示唆される。